大会名称: **東日本大震災復興支援**
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Aコート**

試合区分: **No. 20 男子 決勝**

期 日: **2013(H25)年11月4日 (月)** 主審: **小澤 勤**

開始時間: **14:40** 副審: **恩地 孝明、青木 俊博**

日本無線 (実業団1)	○ 79	13 − 13 20 − 19 24 − 23 22 − 22 − − −	● 77	九州電力 (実業団3)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1	*	福田大佑	19	2	5	3	2	4		松谷 直人	−	−	−	−	−
2	*	福田侑介	17	4	1	3	4	5		中川 直之	−	−	−	−	−
3		会川 剛史	−	−	−	−	−	6		柚木 毅	−	−	−	−	−
6	*	鈴木伸之	15	3	3	0	0	8		岡 隆輔	1	0	0	1	0
7		松林弘祐	−	−	−	−	−	9	*	田中 喜陽	16	0	8	0	4
9	*	小林純也	20	2	5	4	0	12	*	織田 秀司	6	0	3	0	2
15		近藤 大	−	−	−	−	−	15		賀来 龍矢	−	−	−	−	−
19		三原 大樹	4	0	1	2	4	16		村瀬 敦希	11	3	1	0	1
22		鈴木 裕也	−	−	−	−	−	21	*	毛利 孝志	13	0	6	1	3
24		菅原 康平	−	−	−	−	−	24		中深迫 諒太	−	−	−	−	−
25		尾崎 智則	−	−	−	−	−	26		坂本 祐一	−	−	−	−	−
31	*	那谷 一樹	4	0	2	0	5	30		吉満 俊孝	−	−	−	−	−
34		樋渡 大樹	0	0	0	0	0	31		児嶋 修平	−	−	−	−	−
58		鎌田 晃輔	−	−	−	−	−	33		横山 優王	−	−	−	−	−
72		上野 学	−	−	−	−	−	34		佐敷 幸英	−	−	−	−	−
								35	*	熊谷 駿	2	0	1	0	1
								45		根岸 豪	9	0	4	1	2
								91	*	酒井 祐典	19	3	4	2	3
コーチ		尾崎智則 / TEAM						コーチ		山口 健太郎 / TEAM					
		合計	79	11	17	12	15			合計	77	6	27	5	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド:両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。九州電力は、#91酒井の連続スリーポイントで序盤はリズムに乗る。日本無線はシュートがリングに嫌われ得点することができなかったが、#2福田のシュートを皮切りに#1福田のドライブインで得点するなどリズムを取り戻し、日本無線13-13九州電力で第1ピリオド終了。
第2ピリオド:ピリオド序盤に日本無線が連続で速攻から加点し流れをひきつけたかに見えたが、九州電力はタイムアウト後、スクリーンをうまく使ったプレーで得点し流れを断ち切る。日本無線は#6鈴木のアウトサイドシュート、九州電力はインサイドにボールを集め#12織田のシュートなどで応戦。一進一退の攻防が続き、日本無線33-32九州電力で前半を終える。
第3ピリオド:九州電力は#21毛利が中心となってポストプレーをオフェンスの起点にして、#9田中のシュートなどで得点。一方の日本無線は、アウトサイドシュートの確率があがり、点を取り合う展開に。両チームとも食い下がり点差は広がらず、日本無線57-55九州電力で勝負の行方は最終ピリオドへ。
第4ピリオド:高確率シュートの応戦が続く中、残り5分22秒に日本無線が#2福田#9小林のスリーポイントで8点差にリードを広げる。九州電力は体を張ったリバウンドとゴール下で粘り強く加点し、逆転の機会をねらう。残り1分で九州電力#91酒井のバスケットカウントなどの活躍で2点差とし、残り25秒で九州電力#45根岸のリバウンドからのシュートでついに同点とする。すぐさまタイムアウトをとった日本無線はタイムアップぎりぎりまで時間を使い、セットプレーから#9小林のシュートで2点差と抜け出す。すかさず九州電力もタイムアウトをとり、残り3秒で最後のオフェンスに望みをかけたが、無情にもシュートはリングにはじかれタイムアップ。日本無線が79-77で接戦をものにし優勝した。

担当者:井原 洸太郎(財団法人広島県ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会) (公財)日本バスケットボール協会